

ゆめ広場の活動は多くの方々に支えられています

ゆめ広場にご協力をいただき、ありがとうございました。

・ バザー用品のご提供（4月～8月）（敬称略、順不同）

吉岡静子、安田、波多野晴子、田中、モトジマ、古場、田中輝子、花村、花田、田中のり子、宮原祥子、野原秀子、太田照子、浜口、藤山、近藤、中原、徳満、長谷川、六本、松崎、松本、中西勇太、松尾秀子、才田、白土芳昭、大脇知恵、田中潤、藤田、石谷、早川、山口、島田、都留、宮本、島子、白石、大庭禅誉、中村恭子、大庭信子、川畑祐子、匿名の方々

・ ご寄付いただいた方（4月～8月）

さんさん（お好み焼き）、白石隆子、岡部秀子、大門正和、斉藤登、山賀清、池田耕三、

・ ゆめ広場の「募金箱」に募金いただいた、多くの方々

・ 未使用切手、書損じハガキ、テレホンカード、カンパスシールなど

「ゆめ広場」の資金として活用させていただきました。



報告

『テレジンの 小さな画家たち 詩人たち』絵画展

7月～8月に、福岡市や北九州市で、『テレジンの 小さな画家たち 詩人たち』絵画展が開催されました。

「アウシュビッツ」強制収容への中継地「テレジン収容所」で、親と離されて集められた子どもが1万5千人（生存100人）。高い塀と有刺鉄線にかこまれた、“収容所”とよばれる地獄にとじこめられていた子どもたちのために、地元の方が用紙などを用意し、4000枚の絵と30篇の詩が残されました。

子どもたちの怒り、悲しみ、夢、祈り、そして、生きたいという叫び...生命のメッセージを、ひとりでも多くの方に伝えたいと想う方々の願いで、絵画展が実現しました。

『蝶々』

蝶よ 黄色い蝶よ 野を越えて 川を渡り 自由に飛んで
あの花に この花に くちづけをして 私たちの 生きたい想い 伝えてほしい
越えられぬ 高い塀に とじこめられて 蝶よ みんなの夢を 蝶よ かなえてください
バヴェル・フリードマン 1929年1月生まれ 1944年9月29日アウシュヴィッツへ 訳:野村路子

～テレジンの子どもたちは大人から愛されていると思った時、素晴らしい力を発揮しました。おとも憎しみではなく子どもたちにこの世の美しいものを伝え、生きる希望や夢を託し、自らも誇り高く生きようと思いました。平和は創造と想像にあると思います。

今、大人が子どもに対して何ができるか、何をすべきか、いろんな考え方があるでしょう。テレジンのことを知ることで生まれてくる何かがあると信じます。

もっと平和なそして希望に目を輝かせる子どもたちの日々でありますように～

（鏵塚聰子さんからのメッセージの一部より）

北九州市の開催では「原田さんのリコーダー」、「谷口さんのピアノ」演奏もありました。今回、見ることのできなかつた方は、日本にテレジンの絵や詩を伝えるのにご尽力された「野村道子」著書の本を、是非、ご覧下さい。「テレジン収容所の小さな画家たち詩人たち」、「アウシュビッツに消えた15000人の小さな生命」、「15000人のアンネフランク」など。